

男性看護師における女性患者へのケアや 職場内外の人間関係と働きやすさとの関連

—日本男性看護師会会員を対象としたアンケート調査—

タワラ 倭 こなみ*1 トモタキ アイ 友滝 愛*2 フジノ ヤスヒラ 藤野 泰平*3*4

目的 本研究の目的は、男性看護師における女性患者へのケアや職場内外の人間関係と働きやすさとの関連を検討することとした。

方法 対象者は一般社団法人日本男性看護師会の会員で、臨床看護師として病院で働いている男性看護師とした。調査方法はウェブアンケートで、2017年8～9月に会員ウェブサイトを通じて実施した。アンケートでは、対象の属性、働きやすさ、女性患者へのケア、職場内外の人間関係について尋ねた。各調査項目について集計し、「女性患者へのケア・職場内外の人間関係」と「働きやすさ」のクロス集計を行った。

結果 アンケート回答者は104人で、平均年齢（標準偏差）35.1歳（7.3）、平均臨床経験年数（標準偏差）11.2年（6.3）、既婚者66.3%であった。所属診療科は、一般病棟が最も多く51.0%、次いで、ICU・救急外来／救急病棟・手術室が28.8%であった。女性患者からケアを断られたことがある人は87.5%、男性看護師であることから女性看護師にケア交代を頼んだことがある人は97.1%、女性患者とのコミュニケーションに不安を感じる人は11.5%、信頼関係を築きにくいと感じている人は10.6%であった。女性が多数の中で孤独を感じる人は28.9%、職場内外を問わず相談できる人は92.3%であった。女性患者へのケアと働きやすさとの関連では、「男性看護師がケアを行うことに対して、女性患者が嫌がっているのではないか」と思う人ほど、働きにくいと回答する傾向があった。職場内外の人間関係と働きやすさとの関連では、「職場の看護師同士の関係」が良好ではないと回答した人は、働きにくいと回答する傾向があった。

結論 男性看護師の多くは女性患者にケアを断られた経験があるが、女性患者とのコミュニケーションや信頼関係の構築での困難感は少なかった。また、女性患者に対するケアと働きやすさ、職場内外の人間関係と働きやすさに関連がみられた。今後は、女性患者に対してケアの困難さがある場合でも、職場環境によって働きやすさが変わるのか、これらの要因の組み合わせによる相互の関連性を、さらに検討する必要がある。

キーワード 男性看護師、働きやすさ、アンケート調査、患者－看護師関係、職場内外の人間関係

I はじめに

医療現場の看護師は女性の割合が多いが、近年、男性看護師の割合は国の統計によると7.8%と増加傾向にある¹⁾。男性看護師に対しては、

職場環境の改善や人間関係の潤滑油の役割、男性患者へのケア、患者の不穏時や患者移動時の対応、管理職などのキャリアも期待されている^{2)～6)}。

その一方で、男性看護師はセクシャリティの

* 1 前・国立がん研究センター中央病院看護部看護師 * 2 国立看護大学校看護学部助教

* 3 (株)デザインケア代表取締役 * 4 一般社団法人日本男性看護師会代表理事

観点から、ケアに困難を感じることも多い²⁾。例えば、男性看護師は女性患者から敬遠されると感じ⁷⁾⁸⁾、男性看護師の約65%が女性患者にケアを断られた経験がある⁹⁾。ただし、このような経験は、患者－看護師間の性の違いによるものだけではなく、配属先の特徴もある¹⁰⁾。例えば、ICU・救急外来・手術室では、患者は安全に対する欲求が第一でケアの拒否は少ないが、患者の重症度・緊急度が低く、患者のニーズ欲求段階が高い病棟ほど、男性看護師は女性患者からケアを拒否される経験が多い⁹⁾。とくに排せつや寝衣交換などの場面でケアを拒否された、あるいは、拒否されそうになった経験をもつ男性看護師は約60～75%で⁸⁾、患者対象の調査でも、男性看護師から受ける日常生活援助のうち、排せつ・入浴・更衣・清拭といったケアは女性看護師に代わって欲しいと考える患者は多い¹¹⁾¹²⁾。

女性患者からケアを拒否されることに対して、男性看護師は無力感や葛藤を感じながらも¹³⁾、患者－看護師関係の構築を考えながらケアを行っている。また、患者からケアを拒否されることを受け入れる、女性看護師にケア交代を依頼する、ケアの交代は患者を尊重した対応であると考えるなど、自分自身の考え方を変えて自己解決によって対応している男性看護師も多い⁶⁾。このように、他者にケアの交代を依頼することは、看護師の性別によらず生じることであるが、その一方で男性看護師は、ケアの交代は女性看護師に負担をかけていると感じ⁶⁾⁹⁾¹⁴⁾、とくに臨床経験が少ない男性看護師は、職場内の人間関係を構築している段階で他者に業務を依頼することに対して困難を感じていると考えられる¹⁵⁾。

これらのことから、男性看護師が抱える女性患者へのケアの困難さは、セクシャリティやジェンダーの問題として捉えるだけではなく、職場の人間関係や働きやすさといった職場環境の点から考える必要がある。男性看護師からみた病棟の人間関係や雰囲気は、女性看護師同士の関係性も影響していると感じている。さらに男性看護師が少数であったり、悩みを共有できる仲間が少ない場合、相談できず悩みを抱えな

がら従事しており¹⁵⁾、就業の継続やモチベーションに影響することも考えられる。

男性看護師に関する先行研究では、男性看護師の臨床での困難やその対処法に関する研究に加えて、職務満足度やストレスとの関連の調査結果等が報告されている⁶⁾。しかし、男性看護師の女性患者へのケアの困難さが実際の働きやすさと関連しているのかはよくわかっておらず、また、働きやすさの背景にある職場環境、職場内外の人間関係について同一集団で調査した研究は報告されていない。そこで本研究では、男性看護師における女性患者へのケアや職場内外の人間関係と、働きやすさとの関連を明らかにすることとした。

Ⅱ 方 法

(1) 対象者

本研究は、一般社団法人日本男性看護師会に調査協力を依頼した。会員数は1,174名(2017年8月調査実施時点)で、会員は男性看護師のほか、男性看護師を応援する女性看護師や看護師以外の職種も含まれている。そこで、本研究の対象者の適格条件は、①男性看護師、②臨床看護師として勤務、③勤務先が病院、をすべて満たす者とし、看護師の資格をもつが管理職として勤務している場合や、勤務先が訪問看護ステーションや一般企業などは除いた。

(2) 調査方法

日本男性看護師会の会員ウェブサイトを通じて研究協力を依頼し、アンケート回答用のウェブサイトのURLを案内した。調査の回答期間は、2017年8月31日～9月13日とした。

(3) 調査内容

対象者の属性(年齢、臨床経験年数、婚姻状況、所属診療科)、働きやすさ、女性患者へのケア、職場内外の人間関係について尋ねた。「働きやすさ」は10段階評価を用いた(1-働きやすい、10-働きにくい)。「女性患者へのケア」は、「女性患者とのコミュニケーションに

不安があるか」「女性患者との信頼関係は築きにくいと感じるか」「男性看護師がケアを行うことに対して女性患者が嫌がっていると思うことはあるか」など、「職場内外の人間関係」は、

表1 対象者の属性

				(単位 人)			
		n	%	n	%		
年齢	全体：平均（標準偏差）	35.1	(7.3)	働きやすさ	1 働きやすい	15	14.4
	20代	27	26.0		2	22	21.2
	30代	52	50.0		3	16	15.4
	40代	20	19.2		4	11	10.6
	50代以上	5	4.8		5	11	10.6
臨床経験の年数	全体：平均（標準偏差）	11.2	(6.3)		6	8	7.7
	1年目	3	2.9		7	9	8.7
	2年目	2	1.9		8	6	5.8
	3年目	6	5.8		9	1	1.0
	4年目	4	3.8		10	5	4.8
	5-10年	35	33.7	所属診療科	一般病棟	53	51.0
	11年以上	53	51.0		精神科	7	6.7
婚姻状況	未婚	35	33.7		ICU、救急外来/救急病棟、手術室	30	28.8
	既婚	69	66.3		その他	14	13.5

注 欠損値を除く

表2 働きやすさ、女性患者へのケアと職場内外の働きやすさ

				(単位 人)			
		n	%	n	%		
A 働きやすさ	働きやすい	37	35.6	C 職場内外の人間関係			
	やや働きやすい	27	26.0		1 先輩からのフォローの声かけは多いと思いますか？	14	13.5
	どちらともいえない	19	18.3		1 とても少ない	19	18.3
	働きにくい	21	20.2		2	40	38.5
B 女性ケアについて	1 男性患者と比べ、女性患者とのコミュニケーションに不安がありますか？			3	26	25.0	
	1 全くない	35	33.7	4	5	4.8	
	2	32	30.8	5 とても多い			
	3	25	24.0	2 先輩に自分からよく質問をしていますか？	4	3.8	
	4	10	9.6	1 全くしていない	6	5.8	
	5 とてもある	2	1.9	2	39	37.5	
	2 女性患者との信頼関係は築きにくいと感じることはありますか？			3	35	33.7	
	1 全くない	28	26.9	4	20	19.2	
	2	46	44.2	5 よくしている			
	3	19	18.3	3 あなたの職場は普段困ったときに質問しやすい雰囲気だと思いますか？	7	6.7	
	4	10	9.6	1 質問しにくい	11	10.6	
	5 とてもある	1	1.0	2	17	16.3	
	3 男性看護師がケアを行うことに対して女性患者が嫌がっているのではないかと思うことはありますか？			3	42	40.4	
	1 全くない	1	1.0	4 質問しやすい	27	26.0	
	2	15	14.4	4 職場の看護師同士の関係は良好だと思いますか？			
3	22	21.2	1 良好でない	6	5.8		
4	41	39.4	2	11	10.6		
5 とてもある	25	24.0	3	29	27.9		
4 あなたは女性患者にケアを断られたことがありますか？			4	40	38.5		
ある	91	87.5	5 良好である	18	17.3		
ない	13	12.5	5 困ったときに相談できる人はいますか（職場内外は問いません）				
5 あなたは男性看護師であることから、女性看護師にケアの交代を頼んだことがありますか？			いる	96	92.3		
ある	101	97.1	いない	8	7.7		
ない	3	2.9	6 職場スタッフと意見が違っていても自分の考えを言っていますか？				
6 (5で「ある」と答えた場合) そのことで女性看護師に負担をかけていると感じたことがありますか？			1 言っていない	2	1.9		
1 全くない	16	15.4	2	15	14.4		
2	20	19.2	3	19	18.3		
3	16	15.4	4	34	32.7		
4	24	23.1	5 言っている	34	32.7		
5 とてもある	25	24.0	7 女性患者のケアについて、女性看護師に代わってもらおうと頼むことができますか？				
			できる	102	98.1		
			できない	0	0.0		
			わからない	2	1.9		
			8 女性看護師が多数の中で孤独を感じることがありますか？				
			1 全くない	38	36.5		
			2	22	21.2		
			3	14	13.5		
			4	19	18.3		
			5 とてもある	11	10.6		

表3 女性ケアや職場内外の人間関係と働きやすさとの関連

(単位 人)

		全体		働きやすい		やや働きやすい		どちらともいえない		働きにくい	
		n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
A. 女性ケアについて											
1 男性患者と比べ、女性患者とのコミュニケーションに不安がありますか？	1 全くない	35	12	34.3	10	28.6	5	14.3	8	22.9	
	2	32	16	50.0	4	12.5	9	28.1	3	9.4	
	3	25	6	24.0	9	36.0	4	16.0	6	24.0	
	4	10	1	10.0	4	40.0	1	10.0	4	40.0	
	5 とてもある	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
2 女性患者との信頼関係は築きにくいと感じることはありますか？	1 全くない	28	13	46.4	8	28.6	3	10.7	4	14.3	
	2	46	18	39.1	10	21.7	8	17.4	10	21.7	
	3	19	5	26.3	5	26.3	5	26.3	4	21.1	
	4	10	1	10.0	3	30.0	3	30.0	3	30.0	
	5 とてもある	1	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	
3 男性看護師がケアを行うことに対して女性患者が嫌がっているのではないかと思うことはありますか？	1 全くない	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	2	15	8	53.3	2	13.3	4	26.7	1	6.7	
	3	22	9	40.9	6	27.3	3	13.6	4	18.2	
	4	41	14	34.1	13	31.7	7	17.1	7	17.1	
	5 とてもある	25	5	20.0	6	24.0	5	20.0	9	36.0	
4 あなたは女性患者にケアを断られたことがありますか？	ある	91	31	34.1	24	26.4	16	17.6	20	22.0	
	ない	13	6	46.2	3	23.1	3	23.1	1	7.7	
5 あなたは男性看護師であることから、女性看護師にケアの交代を頼んだことがありますか？	ある	101	35	34.7	27	26.7	18	17.8	21	20.8	
	ない	3	2	66.7	0	0.0	1	33.3	0	0.0	
6 (5で「ある」と答えた場合) そのことで女性看護師に負担をかけていると感じたことがありますか？	1 全くない	16	6	37.5	3	18.8	2	12.5	5	31.3	
	2	20	10	50.0	4	20.0	4	20.0	2	10.0	
	3	16	8	50.0	1	6.3	2	12.5	5	31.3	
	4	24	8	33.3	8	33.3	5	20.8	3	12.5	
	5 とてもある	25	3	12.0	11	44.0	5	20.0	6	24.0	

「職場の看護師同士の関係は良好だと思うか」「女性が多数の中で孤独を感じることもあるか」などで、リッカートスケールによる5段階評価を用いた(例：1-全くない，5-とてもある)。

(4) 分析方法

各調査項目について集計し「女性患者へのケア・職場内外の人間関係」と「働きやすさ」のクロス集計を行った。なお、「働きやすさ」は回答数の分布を考慮して、働きやすい(1(働きやすい)-2)、やや働きやすい(3-4)、どちらともいえない(5-6)、働きにくい(7-10(働きにくい))の4カテゴリとした。

(5) 倫理的配慮

日本男性看護師会の代表者に調査協力の同意を得て、会員ウェブサイトにて説明文書を掲載して協力を依頼し、回答は無記名とした。本研究は、国立国際医療研究センター倫理審査委員会にて承認を得て実施した(平成29年8月14日、承認番号：NCGM-G-002295-00)。

Ⅲ 結 果

アンケート回答者は104人で、対象者の属性を表1に示した。回答者の平均年齢(標準偏差)は35.1歳(7.3)、臨床経験の平均年数(標準偏差)は11.2年(6.3)、既婚者が66.3%であった。所属する診療科は、一般病棟が51.0%、ICU・救急外来/救急病棟・手術室が28.8%、精神科が6.7%、その他13.5%であった。

また、女性患者とのコミュニケーションに不安を感じる人は11.5%、信頼関係を築きにくいと感じている人は10.6%で、女性患者からケアを断られたことがあるのは87.5%、ケア交代を頼んだことがあるのは97.1%で、女性が多数の中で孤独を感じる人は28.8%(4-5(とてもある))、職場内外を問わず相談できる人は92.3%であった(表2)。

女性患者へのケアと働きやすさの集計では、コミュニケーションに不安がない、信頼関係を築きにくいと感じることがない、女性患者は嫌がっていると思うことがない、女性患者にケア

		全体		働きやすい		やや働きやすい		どちらともいえない		働きにくい	
		n	n	%	n	%	n	%	n	%	
B. 職場内外の人間関係											
1 先輩からのフォローの声かけは多いと思いますか？	1 とても少ない	14	4	28.6	1	7.1	2	14.3	7	50.0	
	2	19	3	15.8	5	26.3	3	15.8	8	42.1	
	3	40	14	35.0	15	37.5	8	20.0	3	7.5	
	4	26	14	53.8	6	23.1	5	19.2	1	3.8	
	5 とても多い	5	2	40.0	0	0.0	1	20.0	2	40.0	
2 先輩に自分からよく質問をしていますか？	1 全くしていない	4	2	50.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	
	2	6	1	16.7	3	50.0	1	16.7	1	16.7	
	3	39	8	20.5	12	30.8	10	25.6	9	23.1	
	4	35	16	45.7	8	22.9	6	17.1	5	14.3	
	5 よくしている	20	10	50.0	4	20.0	2	10.0	4	20.0	
3 あなたの職場は普段困ったときに質問しやすい雰囲気だと思いますか？	1 質問しにくい	7	1	14.3	0	0.0	1	14.3	5	71.4	
	2	11	1	9.1	4	36.4	0	0.0	6	54.5	
	3	17	4	23.5	5	29.4	6	35.3	2	11.8	
	4	42	17	40.5	11	26.2	9	21.4	5	11.9	
	5 質問しやすい	27	14	51.9	7	25.9	3	11.1	3	11.1	
4 職場の看護師同士の関係は良好だと思いますか？	1 良好でない	6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	100.0	
	2	11	0	0.0	5	45.5	2	18.2	4	36.4	
	3	29	5	17.2	9	31.0	10	34.5	5	17.2	
	4	40	21	52.5	10	25.0	5	12.5	4	10.0	
	5 良好である	18	11	61.1	3	16.7	2	11.1	2	11.1	
5 困ったときに相談できる人はいますか（職場内外は問いません）	いる	96	35	36.5	24	25.0	18	18.8	19	19.8	
	いない	8	2	25.0	3	37.5	1	12.5	2	25.0	
6 職場スタッフと意見が違っても自分の考えを言えていますか？	1 言っていない	2	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	
	2	15	1	6.7	5	33.3	4	26.7	5	33.3	
	3	19	6	31.6	6	31.6	4	21.1	3	15.8	
	4	34	17	50.0	7	20.6	4	11.8	6	17.6	
	5 言っている	34	13	38.2	9	26.5	6	17.6	6	17.6	
7 女性患者のケアについて、女性看護師に代わってもらおうと頼むことができますか？	できる	102	37	36.3	27	26.5	18	17.6	20	19.6	
	できない	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	わからない	2	0	0.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0	
8 女性看護師が多数の中で孤独を感じることがありますか？	1 全くない	38	21	55.3	8	21.1	5	13.2	4	10.5	
	2	22	6	27.3	8	36.4	4	18.2	4	18.2	
	3	14	6	42.9	4	28.6	2	14.3	2	14.3	
	4	19	4	21.1	4	21.1	7	36.8	4	21.1	
	5 とてもある	11	0	0.0	3	27.3	1	9.1	7	63.6	

を断られたことがない人ほど、働きやすいと回答する傾向があった（表3）。同様に、職場内外の人間関係と働きやすさの集計では、先輩からのフォローの声かけが多い、職場は普段困ったときに質問しやすい雰囲気である、職場の看護師同士の関係が良好である、女性看護師が多数の中で孤独を全く感じない人ほど、働きやすいと回答する傾向があった（表3）。

IV 考 察

本研究では、男性看護師の多くは、女性患者からケアを拒否された経験があり（87.5%）、女性看護師にケアの交代を依頼するといった対処法をとっていたが（97.1%）、女性患者とのコミュニケーションや信頼関係の構築について困難であると感じる人は少なかった。さらに、

女性患者のケアに対して困難に感じていない人ほど、あるいは、職場内外の人間関係が良好であるほど、働きやすいと感じていた。女性患者へのケアに伴う困難さと働きやすさとの関連においては、職場環境の改善により両者を改善できる可能性があり、今後さらなる検討が必要であると考えられた。

本研究では、男性看護師の約9割が女性患者からケアを拒否される経験があったが、近年発表された先行研究¹⁰⁾¹⁶⁾よりやや多い結果であった。これは、本研究の回答者は、経験年数が長い看護師が多くこれまでの経験も含まれていること、配属先は一般病棟が多く患者にケアを断られる機会が多いこと⁹⁾が考えられた。

女性患者とのコミュニケーションや信頼関係の構築と働きやすさとの関連は、女性患者にケアを拒否された経験の有無や、女性患者に嫌が

られていると感じることよりも、緩やかな傾向であった。この背景には、羞恥心が生まれやすく戸惑いやすいケア¹⁷⁾に比べて、患者－看護師間の性の違いによる悩みが少ないこと、性の違いよりも看護師自身のスキルのほうが影響しやすいことが考えられた。一方で、性別により看護を拒否された経験を持つ男性看護師は、ジェンダーを意識する傾向があることも報告されている⁸⁾。女性患者にケアを拒否される体験は、他の女性患者にもケアを断られるのではないかと嫌がられているのではないかと感じやすく、男性看護師が働きにくいと感じる要因になっている可能性もある。

また、女性看護師が多数であることにより孤独を感じる人の割合は、先行研究¹⁸⁾よりやや多い傾向にあった。このような中で、職場での人間関係やスタッフとのコミュニケーション、職場で感じる孤独、職場の看護師同士の関係といった職場環境と働きやすさとの関連がみられた。男性看護師の患者－看護師間の性の違いによるセクシャリティの問題は、女性患者・男性看護師だけではなく、男性患者－女性看護師間でも生じる。患者ケアの交代の依頼のしやすさなどは、女性看護師にとっても必要な職場環境である。

本研究の限界として、調査票の設計に関する点があり、本調査の質問項目は、過去も含めた経験と現在の状況について区別できていなかったこと、女性患者からケアを断られた理由は、身体的なケアに伴うものであったかは不明であることがある。次に、回答者は経験年数の長い男性看護師が多数を占め、経験年数の少ない男性看護師には当てはまらない可能性がある。また、本調査では回答者数が十分ではなかったため、経験年数別や配属先ごとの分析は行わず、分析時に交絡・バイアスは考慮できていない。今後、配属先・経験年数等を考慮したうえで、女性ケアの経験と職場環境が働きやすさにどのように影響しているか、大規模調査での検討が必要である。最後に、本研究の協力を得た日本男性看護師会会員のうち、適格基準に合致する対象者数を把握することが困難であったが、本

研究の回答者は全会員数1,174人に対して104人であり、回答率は低いことが考えられた。

本研究の結果の一般化可能性に限界はあるが、対象者の51.0%は一般病棟で、配属先の多様化¹⁰⁾が反映された結果となった。従来は、男性看護師に対する認知度・理解度の低さもあった⁹⁾が、一方で、男性看護師のケアを受けた経験のある患者ほど看護師にも男性が必要であると考えており¹¹⁾、女性看護師にケアを代わって欲しいと考える割合が低く¹⁹⁾、男性看護師によるケアへの受け入れがよい²⁰⁾ことも報告されている。また本研究は、病院看護師を対象としたが、男性看護師の活躍の場は、介護施設²¹⁾や訪問看護ステーション²²⁾等、多様化している。患者－看護師間の性の違いは解消できないが、看護界のダイバーシティの推進でも男性看護師は重要で²³⁾、看護師に対する社会のイメージも変えていく必要がある。

V 結 論

男性看護師の多くは女性患者にケアを断られた経験があるが、女性患者とのコミュニケーションや信頼関係の構築での困難感は少なかった。また、女性患者に対するケアと働きやすさ、職場内外の人間関係と働きやすさとの関連がみられた。女性患者のケアへの対処法は、職場の人間関係によって対応が可能であることから、今後は、女性患者に対してケアの困難さがある場合でも、職場環境によって働きやすさが変わるのか、これらの要因の組み合わせによる相互の関連性を、さらに検討する必要がある。

謝辞

本研究にご協力いただいた日本男性看護師会の皆様に感謝申し上げます。なお本研究は、国立看護大学校2017年度卒業研究の一部を報告したものである。

文 献

- 1) 厚生労働省. 平成30年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況. (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/>)

- saikin/hw/eisei/18/) 2021.1.12.
- 2) 明野伸次. 男性看護師に対する業務評価・役割期待に関する文献的考察. 北海道医療大学看護福祉学部紀要 2004; 11: 95-100.
 - 3) 青野弘文, 藤田徹, 山本梨依子, 他. 女性病棟に男性看護師が配属されたことによる変化 女性看護師のストレス軽減をめざして. 日本精神科看護学術集会誌 2013; 56(1): 176-7.
 - 4) 高尾辰徳, 阪下順一, 高橋優太, 他. 男性看護師が職場環境に与える影響. 日本看護学会論文集 看護管理 2013; 43: 483-6.
 - 5) 山口大輔, 富田元, 藤井仁, 他. 病院における男性看護師の就業状況と役割期待-愛知県全域・看護管理責任者への質問紙調査-. 日本看護学会論文集 看護管理 2018; 48: 153-6.
 - 6) 矢島直樹. 臨床での男性看護師の実態に関する文献検討と支援のあり方の一考察. 福井県立大学論集 2014; 44: 147-63.
 - 7) 北林司, 萩原英子, 鈴木珠水, 他. 臨床で男性看護師が経験する女性看護師との差異. 群馬パース大学紀要 2007; 5: 653-8.
 - 8) 出口睦雄. 男性看護師の職務ジェンダー意識と職務満足の関係. 日本看護研究学会雑誌 2009; 32(4): 59-65.
 - 9) 木許実花, 福田里砂, 赤澤千春. 女性多数の職場において男性看護師が抱える悩みや問題の現状と職務キャリアの関係. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要 2013; 9: 70-5.
 - 10) 長岡慎也, 箕越功浩, 井上真奈美. 「羞恥心を伴う看護・ケア」における困難さと将来展望の現状について: 男性看護師の属性に着目して. 山口県立大学学術情報 2017; 10: 123-8.
 - 11) 大山祐介, 戸北正和, 小川信子, 他. 男性看護師に対する女性患者の認知度とニーズに関する研究. 保健学研究 2006; 19(1): 13-9.
 - 12) 吉川圭, 河合晃子. 一般病棟における患者の男性看護師によるケアに対する感じ方. 日本看護学会論文集 看護管理 2015; 45: 366-9.
 - 13) 北沢勝己. 男性看護師のジェンダー(社会的・文化的役割としての性)についての文献レビュー. 帝京平成看護短期大学紀要 2013; 23: 41-5.
 - 14) 遠藤雅代. 男性看護師が女性患者への看護ケアの交代を依頼する際の意味決定の基準. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録 2012; 37: 25-30.
 - 15) 前川寿徳, 末村任, 栗田富佐江, 他. 男性看護師の声から考えた職場環境の支援策: 職務上での悩みやストレスに対する面接を通して. 日本看護学会論文集 看護管理 2014; 44: 71-4.
 - 16) 前田貴彦, 立松生陽, 辻本雄大, 他. 女性患者と女性看護師への関わりに対する男性看護師の実態. 三重県立看護大学紀要 2015; 18(18): 37-41.
 - 17) 高橋良, 田中真琴, 任和子. 一般病棟に勤める男性看護師が職場で感じる困難とその対処. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要 2014; 9: 41-5.
 - 18) 木許実花, 福田里砂, 赤澤千春. 男性看護師が抱える悩みや問題の現状と職務キャリアの関係(第1報): 女性多数の職場において男性看護師が抱える悩みや問題の現状について. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要 健康科学 2012; 7: 75-80.
 - 19) 橋本亘弘, 山中美子, 文才理. 男性看護師のケアに対する女性患者の感じ方に関する調査. 社会保険医学雑誌 2004; 43(2): 49-54.
 - 20) 小嶋亜紀子, 筑後幸恵. 男性看護師に対する入院患者の受容. 日本看護学会論文集 看護管理 2004; 35: 366-8.
 - 21) 増田雄太, 富田元, 山口大輔, 他. 介護保険施設における男性看護師の就業状況と役割期待-愛知県全域・看護管理者への質問紙調査-. 日本看護学会論文集 看護管理 2018; 48: 145-8.
 - 22) 富田元, 山口大輔, 増田雄太, 他. 訪問看護ステーションにおける男性看護師の就業状況と役割期待-愛知県全域・施設長への質問紙調査-. 日本看護学会論文集 看護管理 2018; 48: 149-52.
 - 23) 野澤美加, 卯野木健. 特集 看護職のダイバーシティ推進: 男性看護師の採用推進と男女の協力で看護の質の向上を目指す. 師長主任業務実践 2012; 17(364): 17-21.